

「日本国はじまりの地 檀原」未来戦略 (パブリックコメント案)

基本目標

基本目標①

地の利を活かしたしごとの場づくり ～誰もが活躍できる働き場の提供・支援～

平坦な地形と安定した気候、鉄道・道路等の交通網の充実といった地の利を活かして、企業誘致や起業支援、地場産業や物産の認知向上・販売促進に取り組むことで、地域経済の活性化や稼ぐ力の向上につながるよう長期的な雇用機会の拡大・創出を目指します。公共だけでなく民間事業者や地域住民等、多様な視点を取り入れるように努め、包括的で持続可能な活力ある「働き場」を実現していきます。

「働き場」：企業への就職の場だけでなく、個人が活躍できる働き方ができる場

数値目標

- ・企業立地促進奨励金の利用件数
(R6実績 3件 目標値 3件)
- ・創業支援等事業計画に基づく創業者数
(R6実績 49人 目標値 66人)

基本目標②

新たな人の流れや交流を盛んにする魅力づくり ～歴史・文化・自然を活かして創る周遊コンテンツと魅力発信～

世界遺産登録や国民スポーツ大会により国内外からの来訪が見込まれることから、強みである歴史・文化・自然環境、スポーツ施設等を積極的に活かし、人の流れや交流を促進します。地域の魅力を最大限に引き出せるよう、民間事業者や地域住民等の力も借りながら情報発信できる仕組みづくりに取り組みます。また小売、飲食、宿泊サービス、娯楽等の観光消費の受け皿の育成により持続可能な観光振興を進めていきます。

数値目標

- ・奈良県東部エリアの年間観光客数
(R5実績 16,234,000人 目標値 18,770,000人)
- ・年間市内宿泊者数
(R5実績 188,000人 目標値 210,000人)

基本目標③

安心して子どもを産み育てられる環境づくり ～専門家と地域で紡ぐ誰一人取り残さない子育て支援・教育～

安心して子育てできる環境づくりのためには、子育て相談・支援体制の整備、保育士などの専門職の人材確保、世代間交流の場の創出、教育環境の整備が必要です。子どもの発達・育成のための支援体制、保護者の不安軽減を図るための相談体制の強化、橿原市の特色を活かした魅力ある教育の推進、幅広い世代、多様な主体がそれぞれの強みを活かした多様な学びの機会の提供により、個々の能力を最大限に伸ばすことができるような取組みを進めます。

数値目標

- ・14歳以下の人口の社会増減
(R6実績 +3人 目標値+10人)
- ・市を特徴づけるキーワードに「子育て」「教育」を選んだ人の割合
(R5実績 53.1% 目標値 60.0%)

基本目標④

安心して健康に暮らせるまちづくり ～一人ひとりが豊かに暮らせる「健幸」の普及～

国民スポーツ大会開催をスポーツを通じた健康に暮らせるまちづくりを進める機会ととらえ、障がいの有無、年齢などに関わらず、スポーツを継続的に取り組める基盤整備を行います。また、ひとりひとりが自分らしく、生きがいをもって楽しく暮らせることを目指して、健康促進につながる取組み、社会参加の機会の創出、防犯・防災対策の強化を行います。

「健幸」は、身体的・精神的・社会的に良好な状態のことを指し、個人の幸福感や地域社会のwell-beingを向上させることを目指しています。

数値目標

- ・スポーツを週2日以上している人の割合
(R6実績 48.3% 目標値 55.0%)
- ・市を特徴づけるキーワードに「医療・健康」を選んだ人の割合
(R5実績 37.4% 目標値 40.0%)

総合戦略の体系

基本目標

重点施策（基本的方向）

①
地の利を活かした
しごとの場づくり

～誰もが活躍できる働き場の
提供・支援～

企業誘致による多様な人々が働く場の
提供

起業（開業）・創業への支援

②
新たな人の流れや交流を
盛んにする魅力づくり

～歴史・文化・自然を
活かして創る
周遊コンテンツと魅力発信～

橿原の魅力を知ってもらうための市
内周遊コンテンツ・滞在環境づくり

関係人口の拡大に向けた人流の増加

③
安心して子どもを産み
育てられる環境づくり

～専門家と地域で紡ぐ誰一
人取り残さない子育て支
援・教育～

子どもの健全な発達、育成を支援す
る体制づくり

特色を活かした教育環境の推進

④
安心して健康に
暮らせるまちづくり

～一人ひとりが豊かに
暮らせる「健幸」の普及～

一人ひとりのニーズにあわせた日
常的な健康づくり

安全・安心に暮らせる環境づくり

重点施策（基本的方向）

基本目標①

地の利を活かしたしごとの場づくり ～誰もが活躍できる働き場の提供・支援～

重点施策の 主なねらい

- 市内で企業立地の可能性のある場所に、市内外から製造業を中心とした幅広い業種を対象とする企業誘致を進め雇用機会の拡大や創出を進めます。加えて、近隣の地域からの通勤、首都圏からの移住や複数拠点生活ができるような働き方ができる場も創出することで、若者・女性、子育て世代、高齢者、支援が必要な人にとって安定した働く場の確保を進めます。
- 企業等への就職だけでなく働き方の選択肢として起業ができ、販路拡大につながる支援を進めます。単なる創業にとどまらず、事業承継等の多様なつながりが生まれるよう、歴史景観と便利な都市が融合したまちで元気な人たちが集まるような支援を行います。

重点施策 （基本的方向）

企業誘致による多様な人々が働く場の提供

起業（開業）・創業への支援

< 取り組み例 >

新たな産業立地の創出

合同企業説明会・就職面接会の開催

創業に関するワンストップ相談窓口

ビジネス商談会の開催

重要業績評価指標（KPI）

指標名	初期値	目指す値
産業用地面積	0ha	30ha
制度融資実行件数	200件	250件

重点施策（基本的方向）

基本目標②

新たな人の流れや交流を盛んにする魅力づくり
～歴史・文化・自然を活かし仲間と創る周遊コンテンツと魅力発信～

重点施策の
主なねらい

- 年間多くの人を訪れる橿原神宮、世界遺産登録により来訪者数増が見込まれる「飛鳥・藤原の宮都」、中世から続く今井町を中心とした、市内消費額増加につながるよう宿泊機能も含めた市内滞在期間を増加させる周遊コンテンツづくりを進めます。
- 大阪・京都・奈良市からの人流を増やし「関係人口」「交流人口」の増加を実現するため、歴史・文化・自然を活かした観光周遊のための新たなコンテンツを地域とともに発信します。

重点施策
(基本的方向)

< 取り組み例 >

橿原の魅力を知ってもらうための市内周遊コンテンツ・環境づくり

市内の観光周遊スポットの創出

関係人口の拡大に向けた人流の増加

各種メディアを通じた魅力発信

重要業績評価指標（KPI）

指標名	初期値	目指す値
宿泊者の再訪問意向率	59.4%	65.0%
シティセールス関連 x 年間表示件数	1,000,000件	1,200,000件

重点施策（基本的方向）

基本目標③

安心して子どもを産み育てられる環境づくり
～専門家と地域で紡ぐ誰一人取り残さない子育て支援・教育～

重点施策の 主なねらい

- 子どもや親の支援体制、相談体制の強化、世代を超えた交流の場の創出により、子どもも親も孤立せず、地域全体で子どもを見守り育てるコミュニティづくりを進めます。
- 子どもの個性を尊重し、橿原市の特色を生かした魅力ある教育の推進とあわせて、世代を超えて交流、ともに活動することで、学校教育だけでは得られない幅広い知識と経験を積む場をつくります。
- 子どもの数が減少することを踏まえ、小規模化した学校の再編と併せて安全確保のため施設の老朽化対策に取組み、D Xの推進をすることで、個別最適な学習環境と協働的な学習を実現します。

重点施策 （基本的方向）

子どもの健全な発達、育成を支援する体制づくり

特色を活かした教育環境の推進

<取り組み例>

- 支援が必要な子どもと家族への支援
- 子どもの安全・安心な居場所づくり
- 世界遺産登録を通じた歴史教育
- 虹の広場でのICTの活用

重要業績評価指標（KPI）

指標名	初期値	目指す値
療育的ニーズに合わせた支援の保護者満足度	85%	95%
自律的・能動的な授業改善のサイクルに取り組む学校数	15校	21校

重点施策（基本的方向）

基本目標④

安心して健康に暮らせるまちづくり
～一人ひとりが豊かに暮らせる「健幸」の普及～

重点施策の
主なねらい

- 運動習慣のなかった方や健康づくりに関心のなかった方も取り組んでみたくなるような仕組みづくりを行います。また、健康で活動的な高齢者を増やすための取組みも行います。あわせて、スポーツコミッションを活用し、他地域からの人流の増加、地域活性化を推進します。
- 一人ひとりのニーズに沿った多様な趣味や文化的活動など社会参加の機会を創出し、新しいつながりが生まれることで、心の健康を高める取組みを進めます。
- 充実した日常生活を健康に営むために、犯罪防止や防災対策を推進し、A I ・デジタルの活用や広域連携も含めた安心・安全に暮らせる環境づくりの取組みを推進します。

重点施策
(基本的方向)

< 取組み例 >

一人ひとりのニーズにあわせた日
常的な健康づくり

医大と連携したスポーツ交流の実施

防災講座の実施と防災教育の推進

安全・安心に暮らせる環境づくり

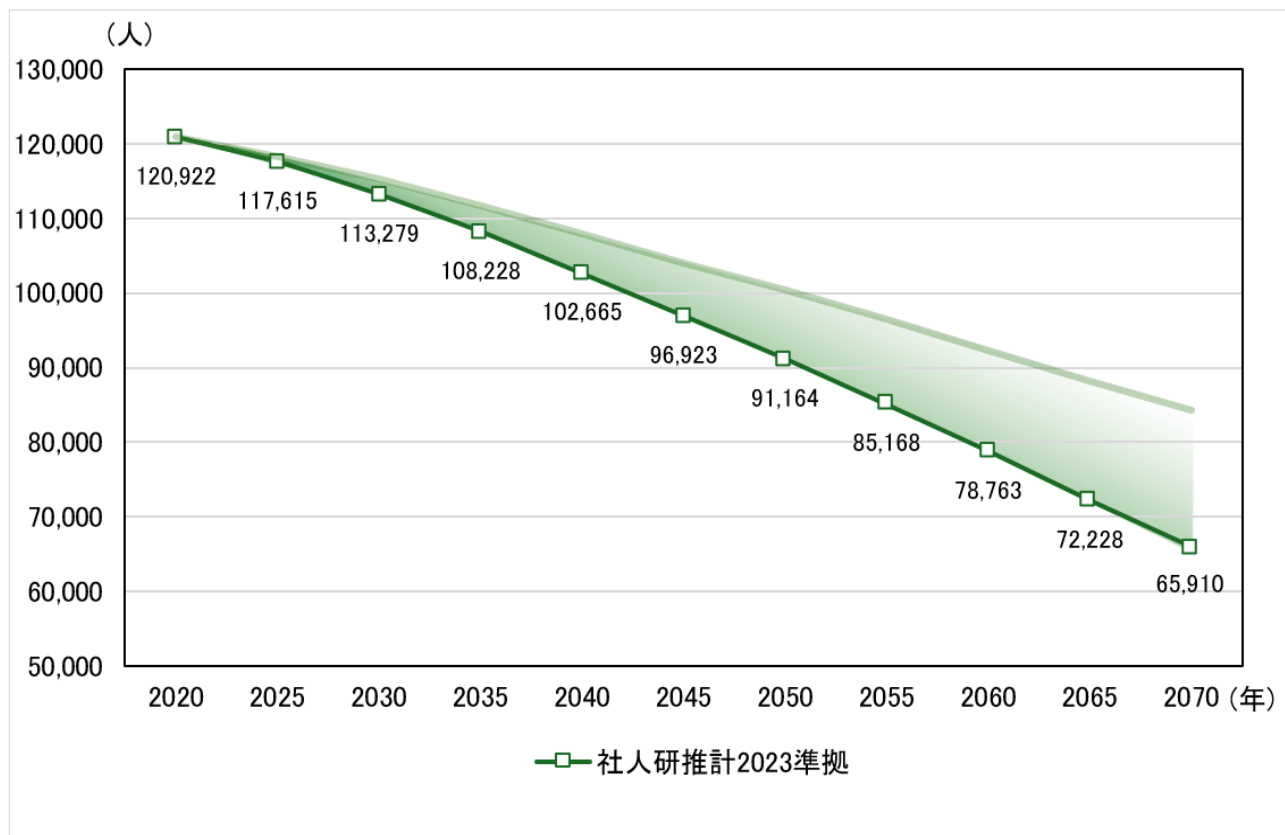
民間福祉避難所との連携強化

重要業績評価指標（KPI）

指標名	初期値	目指す値
橿原運動公園利用者数	190,000人	220,000人
長寿健康診査受診率	22.3%	30.0%
防災講座・訓練において地域の防災力が向上していると感じる団体数	44団体	49団体

檀原市人口ビジョン

将来人口推移



社人研推計の人口をもとに橿原市を活性化させる施策を検討する。将来人口推移のグラデーションは下記のとおり、理想的な合計特殊出生率、移動率を示しており、希望をこめて示しています。